



令和8年度 朝日町立西五百川小学校だより

ポ プ ラ



第3号 令和8年5月15日 校長 奈良崎芳晴

自ら学び 支え合い 世界を広げる子ども

学 霊峰 朝日の如く 清流 最上の如く

先人の思いを受け継ぎながら…



一つ屋根の下で、ともに生きるファミリー。

17名のスタッフ全員が28名一人一人の子どもの担任という姿勢で、子どもの育ちを支えてまいります。

避難訓練

4月15日（水）、今年度1回目の避難訓練を行いました。今回は図工・家庭科室からの「出火」を想定した訓練です。「避難」の言葉どおり「難を避ける」訓練、そこには、安全な場所まで、安全に移動する、という2つの安全が求められます。

また、今回は「火災」という条件が設定されておりますので、①火元に近づかないこと、②煙を吸わないこと、そして、「授業中」ということも加わるため、自分だけでなく、③みんなで（集団で）ということがポイントになります。この条件は、「地震」「土砂災害」「不審者」「Jアラート発信時」等へ、また、教師が子どもを掌握する授業時から、個に委ねられた自由時間「休み時間」時へと、1年間の中で計画的に行われます。

子どもたちは3つのポイントを意識し、冷静に行動することができました。

「いざ」という時に現れる姿は、日頃の姿です。日頃できないことをいざという時にできるわけがありませんからね。ですから、避難訓練における子どもの姿は日頃のバロメーターと捉えることもできます。子どもたちは、これまで学んだことを姿として表していました。



交通安全指導

4月22日（水）朝、常盤駐在所の石垣奎介様から交通安全に関する講話をいただきました。「右・左・右」と道路の様子を確認すること、横断歩道を渡ること、車の後ろや前から急に道路に飛び出さないこと等について、画像を通してその場面に見られる危険を探りながら学習しました。合言葉は①止まる、②見る、③待つ。学習後、子どもたちに合言葉を尋ねてみたら、しっかりと唱えることができました。

石垣様は帰り際、「横断歩道で車を止めると、渡り終わった小・中学生が、その場に立ち止まって深々と頭を下げてお礼をします。歩行者優先だから運転者にとって当然のことをしているだけなのですが、心が温かくなります」とも話されておりました。各ご家庭、地域の素晴らしさを交通安全という視点から感じることができました。

学校探検

4月28日（火）、生活科の学習で学校探検が行われました。2年生が1年生の手を取り学校を回中、校長室を訪れるペアもありました。校長室に入室したAさんは「今、何をしていますのですか？」と単刀直入に質問してきました。起案文書に目を通して最中だった私はどう答えたらよいのだろうと悩みました。瞬間的でしたが、かなり悩みました。そ



して、「紙に書いてあることを確認しているんだよ」と答えました。Aさんは「ふうーん」と反応し、その後、校長室内をきょろきょろ見渡していました。

気の利いた答えの浮かばなかった私、Aさんの「ふうーん」という反応に、否定されない安堵感、といいますか、やさしさから助けてもらった、といいますか、信じてもらっているという責任の重さ、といいますか、それらがミックスした感覚を抱き、背筋が伸びました。

校長室に入るなり、歴代校長の肖像画を眺めていたYさんは、「ベートーベンはいないの？」と質問しました。思いもよらぬ質問に子どもの視点の豊かさをしみじみと感じました。色あせた肖像画から昔の人という共通性を見出したのでしょうか、モーニング姿に共通性を見出したのでしょうか。真意はわかりませんが、何かしらの共通性を見出しベートーベンとつながれたことは読み取れます。

2年生が1年生の手を携えリードする姿からは、1年間の学びがにじみ出ていました。

1年生を迎える会

4月22日（水）3時間目に、1年生を迎える会が行われました。高学年の子どもたちが限られた時間の中で精一杯企画し準備してきたことは、長文を全て暗唱し児童代表挨拶を述べる姿から、ゲーム「新聞紙リレー」のルール説明時に説明役と演示役が阿吽の呼吸で進める姿から、折り紙でつくられた「引き出し」や紙粘土の「バラ」のプレゼントの丁寧さ等からすぐに読み取れました。赤と白のチームに分かれ新聞紙リレーをする際に、「ここだよ」と肩を優しくひと押しし、短時間にチームをまとめる姿等、その場の状況に応じて行動できる姿からも読み取れました。なぜこの会を行うのか、一人一人の心内に、「めあて」と「相手意識」が浸透していることが、姿を通してわかりました。

主役の1年生、好きな食べ物はラーメンと述べたAさん、学校でたのしみなことは休み時間と述べたAさん、大人になったらケーキ屋さんになりたいと述べたKさん、同じく天才発明家になりたいと述べたYさん、皆、話をよく聞き、皆の前ではっきりと話することができました。ゲームをしている時に、3・4年生の子どもたちがとび跳ねながら「がんばれー」と声援を送る姿など、学校全体が1つになってたのしむことのできた、かけがえのないひと時でした。



[illegible]